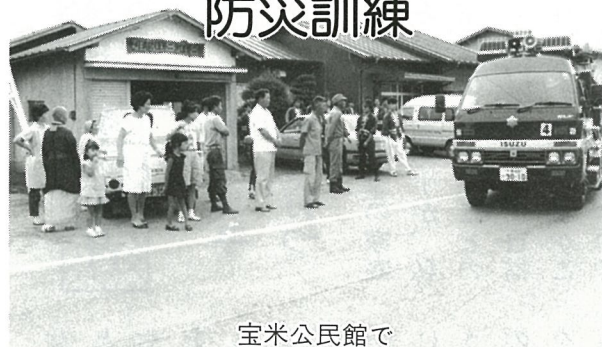


大地震を想定し 防災訓練



宝米公民館で

九月三日、町内全域を対象に、大規模な地震を想定した防災訓練が行われました。

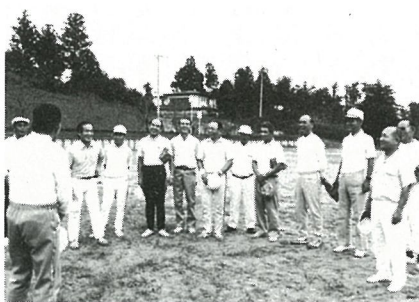
早朝にもかかわらず、消防団員三〇四人、一般の方七七〇人が参加、役場職員も全員が集まり、それぞれの分担につきました。この訓練は今年初めての試みで、防災担当者は何度も何度も計画の修正を行い実行しましたが、実際に行ってみると、

皆さんから「ここはこうしたほうが良いのでは」というご意見が出てきました。

町では、お寄せいただいたご意見等を基に、より充実した防災対策を推進して行きますので、これからもご参加、ご協力をお願いします。

この訓練を行うにあたって各行政委員さん、消防団員の皆さんはじめ、大勢の方がたのご協力をいただきありがとうございました。

全国健康福祉祭に向け 練習開始



▲初顔合わせしたチームの皆さん

十月三十一日から開かれる第一回全国健康福祉祭ひようご大会に、当町のソフトボールチーム（六十歳以上選手十六人、監督実川宗造氏）が、千葉県代表として出場することになりました。この大会は、高齢者の健康増進と、社会参加意欲の高揚を目的として行われるものです。

九月十四日には、チーム結成式が行われ、大会に向けて練習が始まりました。ご健闘を期待します。

お年寄りの

作文発表や

獅子舞を満喫

九月十八日、町と社会福祉協議会の共催で行われた敬老会に、七十歳以上のお年寄り六五〇人が出席しました。

主催者のあいさつの後、満七十歳、満八十歳、八十一歳以上、結婚五十周年夫婦の方がたに、町長と社会福祉協議会長から、お祝い品が贈られました。

式典終了後は、小学生によるおじいちゃん、おばあちゃん

んに贈る作文発表や、篠本二区芸能保存会による獅子舞を楽しみ和やかな一日となりました。



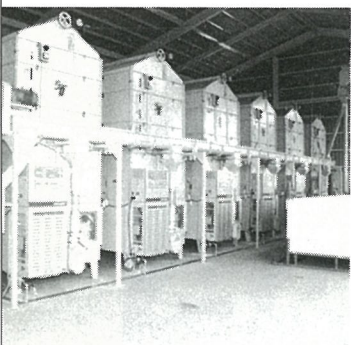
入営農組合

ライスセンター完成



左から町長、浅野組合長、農協組合長

入集落にライスセンターが完成しました。センターには、コンピューターで水分調整のできる乾燥機（二、八ト）六基、大型コンバイン（五条刈り）二台、粳摺機など近代的な設備がされています。



▲乾燥機

八月二十八日には、地元営農組合（組合長浅野肇さん他組合員九人）や町・県、農協の各関係者、建設に携わった方がたが出席し、ライスセンターの竣工を祝いました。今年には雨が少なかったため、どこでも収穫作業に苦労しましたが、このセンターのコンバインは、水田を駆け回っていきなす。組合員のお一人は「十アールを十五分くらいで刈り取れるんですよ」と話していました。早い訳ですね。これからの活躍が期待される入ライスセンターです。